



院長の1分レクチャー28

【手足口病】

夏に流行する感染症＝夏かぜの1つで、ヘルパンギーナと親戚関係にあります。

症状は病名から何となくイメージできると思いますが、実際にはいろいろなバリエーションがあります。典型的な発疹は、手のひら、足の裏～側面に赤みのある1-2mmの水疱です。手の甲にはあまり出ません。のどの奥や舌にも口内炎ができます。意外と発疹が出やすいのはひざ周りとおしりです。数年前には、治ってから爪がはがれるタイプ、全身に水疱が出るタイプも流行りました。熱はそれほど高くなりません。

厳密には登園・登校停止にはならないのですが、こども園や学校は2-3日お休みした方がよいでしょう。まれに大人もかかります。手は痛くて動かせず、歩くときはゆっくり、多発する口内炎で食事もできないそうです。自らかかってしまった同僚の小児科医が教えてくれました、、、

手足にブツブツが出た≠手足口病

手のひらと足の裏に小さな水疱があるか確認しましょう。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつかこども
クリニック